

# ぽっかぽか 2月 らいおん組

2025年が始まると、急に「就学」が近くなったように感じます。残り2ヶ月間、「就学に向けて」と「保育園生活最後の思い出」のバランスをとりながら、イキイキわくわく過ごしていけたらと思っています。

らいおん組の子ども達は「小学生になるんだ！」と目を輝かせています。急に、朝と帰りの支度を自分でするようになる子や鉛筆で自分の名前をきれいに書いたり、行動も変化している子がいて、たくましい姿に成長を感じます。今月号は先月に引き続き「こまったことがあったら伝えられる？」の話し方の紹介をします。

## 思い出作り「劇をやりたい!!」

1月の最終週、一人の子から「劇をやりたい!」とリクエストがありました。子ども会の達成感をもう一度なのでしょ、きっと劇団風の子さんの公演を観劇した影響もあるのでしょう、「まさか」とは思ったもののクラス全体に相談してみるとみんなも「やりたい!」と同じ気持ちでした。そこで思い出作りのひとつとして、他クラスの進級を祝う『進級お祝い会』と紐づけてらいおん組で企画することになりました。とはいっても、まだまだ企画段階。劇のほかに「らいおん組になるとこんなすごいことできるんだよ」と下の子たちに伝えられる出し物があるかと投げかけたところ、次から次へと出るアイデア。残りの保育園生活でできることを精査しながら進級前の3月6日に本番ができるよう子ども主体で進めていきたいと思っています。

## 困ったことを伝えられる? ~お家の人に伝える練習~

先月号で学校側が就学までに身につけてほしいランキング1位として「困ったことやわからないことがあったときに伝えられる力」とありました。

ですが、学校に通い始めるとその日の出来事など、なにがあったかどうかもお子さんに聞かないことにはくわしく知る術がないのが実状です。

「伝えられる」ためには「聴いてもらえる」と子どもたち自身が知る必要があります。右記に保育園でも実践しているポイントを紹介していますのでまずはご家庭で楽しく伝えられる機会をつくってほしいと思います。

尚、ご家庭で全然伝えてくれない。不安な発言や心配な事がありましたら教えて下さい。



話しを聴いてるよ!のポイント

「話しを聴いて貰えた!」と感じることは、脳科学的には、「ご褒美」に匹敵すると言われています。「物」や「お金」ではなく、「コミュニケーション」で、幸せを感じる。とてもステキな事です。

しかし、育児・家事・仕事と時間に余裕がない事もあると思います。そこで、

「子どもの話しを聴いてるよ!」と、話している人に感じてもらえるポイントをいくつかお伝えします。ご参考程度に!



### ☆子どもから話しかけてきた場合

- ・「全肯定」  
否定しないで、受けとめる。認める。✕→否定されると話したい気持ちがなくなってしまうので、要注意。
- ・「感嘆」  
話しに頷く。「へえー」「あー」「なるほどー」と反応し共感する。
- ・「ミラーリング」  
「オウム返し」「〇〇なんだ。」「そー、〇〇なんだね!」身振りも効果あり!
- ・「質問」  
「それってこうゆうこと?」「どんな気持ちだったの?」
- ・「約束」  
ごめんね。今は手が離せないから後で必ず聴くね!

WOW!



### ☆子どもから話し掛けてくれない時のポイント。

- ・「暇だよオーラを出す」  
実は忙しくても余裕があるよ!と、見せかけてワザと「スキ」をつくる。
- ・「YES or NOの質問」  
「ご飯食べた?」→「食べたよ。」など、狭く答えやすい質問をする。  
悪い例→「ご飯何がおいしかった?」→「忘れたー!」
- ・「寝る前に振り返る」  
身体を横にして、一日の最後に、振り返りをすると思い出しやすくなります。人間は、夜にネガティブな感情になりやすいと言われています。おすすめは「楽しかった事」「嬉しかった事」「頑張った事」「人に優しくした事」など、ポジティブな内容で話すと、誉めたり認めたりしやすくなります。ポジティブ思考で眠ると、脳に定着して自己肯定感にも繋がるといわれていますので、よかったら試してみてください。



最後に、「関心をもって話を聴こうとする」と、とてもエネルギーを使います。余裕があるときは、「話しを聴く」=「最高のご褒美!」と思って、その時間を大切にもらえるといいです。

2月15日土曜日に年長クラス最後の保護者会があります!よろしくお願いします!!